

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●オークスはジュウリョクピエロが優勝

5月24日(日)に行われた優駿牝馬(オークス・G I)ではジュウリョクピエロ(牝3歳/栗東・寺島良厩舎)が優勝、G I初挑戦初制覇を果たしました。寺島調教師、鞍上の今村聖奈騎手も初のG I制覇。またJRA所属の女性騎手によるG I勝利は史上初のこととなります。

●松山騎手が1万4000回、丹内騎手が1万3000回騎乗を達成

5月23日(土)の3回京都9日・第6レースでモンスエに騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、史上23人目・現役13人目となるJRA通算1万4000回騎乗を達成しました。さらに同日の1回新潟7日・第11レースとして行われた大日岳特別でビービーエフォートに騎乗した丹内祐次騎手(美浦・フリー)は、史上31人目・現役18人目となるJRA通算1万3000回騎乗を達成しました。

●丸山元気騎手がJRA通算700勝を達成

5月23日(土)の1回新潟7日・第12レースではヴェントインコダが1着となり、同馬に騎乗した丸山元気騎手(美浦・フリー)は、史上70人目・現役26人目となるJRA通算700勝(1万263戦目)を達成しました。

●秋本大介調教師と松尾卓哉調教師がJRA初勝利をあげる

5月23日(土)の1回新潟7日・第1レースではランフォースマイルが1着となり、秋本大介調教師(美浦)はJRA初勝利(延べ33頭目)をあげました。さらに同日の2回東京9日・第7レースではルナルーチェットが1着となり、松尾卓哉調教師(美浦)もJRA初勝利(延べ33頭目)をあげました。

●昆貞調教師と宮徹調教師がJRA通算500勝を達成

5月23日(土)の3回京都9日・第2レースではフォーオールが1着となり、昆貞調教師(栗東)は現役22人目となるJRA通算500勝(延べ5405頭目)を達成しました。また翌24日(日)の1回新潟8日・第8レースではセイプリーズが1着となり、宮徹調教師(栗東)も現役23人目となるJRA通算500勝(延べ7583頭目)を達成しました。

●春の新潟競馬リーディングジョッキーは舟山瑠泉騎手

5月24日(日)をもって1回新潟競馬が終了し、12勝をあげた舟山瑠泉騎手(美浦・田中博康厩舎)が、自身初となる春の新潟競馬リーディングジョッキーに輝きました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●北日本新聞杯(金沢)は牝馬グリーゼ[各地の主要3歳重賞]

北日本新聞杯(5月10日、金沢、1,700万円)は、スタート直後のコーナーワークを利して先頭を奪った5番人気の北海道からの転入馬グリーゼ(牝、父マテラスカイ)が、単勝1.7倍で1番人気の重賞3勝馬エムティジークに6馬身差を付けて初の重賞制覇を果たしました。フロイラインスプリント(5月14日、門別、1,200万円、牝馬)は、先手を取った単勝1.5倍で断然人気のトリップス(父ゴルトマイスター)が後続を5馬身引き離し、2歳時のプリンセスC(盛岡)に次ぐ重賞勝ち。クイーンC(5月14日、笠松、1,580万円、牝馬)は、逃げた3番人気の北海道から笠松への移籍馬リバーストリート(父スズカコーズウェイ)が6馬身差で圧勝。のじぎく賞(5月14日、園田、1,700万円、牝馬)は、3番人気の大井からの遠征馬プリンセスデイズ(父シニスターミニスター)が3馬身半差で逃げ切りしました。今年から岩手デビュー馬限定戦となったイーハトーブマイル(5月17日、盛岡、1,600万円)は、5番手から追い上げた2番人気のリアライン(牡、父リアルスタイル)が残り100万円を切った辺りで差し切り、重賞初挑戦で初制覇となりました。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1アガ・カーンIV世賞(イスパーン賞)～ダリズが快勝

現地5月21日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG1アガ・カーンIV世賞(イスパーン賞)(4歳上、芝1,850万円)はM.バルザローナ騎手を背に5頭立ての3番手を進んだダリズ(牡4歳、父シーザスターズ、F.グラファール厩舎)が直線で楽々と抜け出して優勝しました。3馬身半差の2着に昨年のG1パリ大賞の勝ち馬ルファール、さらに4馬身離れた3着に昨年の勝ち馬でG1・4勝のソジー。勝ったダリズはこれで昨年の凱旋門賞(芝2,400万円)、今年4月のガネー賞(芝2,100万円)に続くG1・3連勝です。なお、このレースは世界有数のオーナーブリーダーで、昨年2月に亡くなったアガ・カーンIV世殿下の功績を称えて今年改名されたもので、ダリズはアガ・カーン家の自家生産馬です。

●G1チャンピオンズ&チャターC～ロマンチックウォリアーが三冠達成

5月24日に香港のシャティン競馬場で行われたG1チャンピオンズ&チャターC(3歳上、芝2,400万円)はJ.マクドナルド騎手が手綱を取ったロマンチックウォリアー(騾8歳、父アクラメーション、C.シャム厩舎)が半馬身差で優勝。このレースとG1スチュワーズC(1月、3歳上、芝1,600万円)、G1香港ゴールドC(3月、3歳上、芝2,000万円)で構成される香港三冠を達成しました。香港三冠の達成は1993/94年シーズンのリヴァーヴァードン、昨シーズンのヴォイッジパブルに続いて史上3頭目です。なお、日本から参戦のディーブモンスターは3着、ローシャムパークは6着でした。